



— (宝永四年) 一七〇七 貝原益軒書 —

# 岡田宮

## 岡田宮夏越祭 ごあんない

第 49 号  
 平成22年7月吉日  
 発行 岡田宮社務所  
 北九州市八幡西区岡田町1番1号  
 郵便番号 806-0033  
 電話 (093) 621-1898  
 FAX (093) 621-5330  
 URL <http://www.okadagu.jp/>  
 E-mail [okadajinja@jcom.home.ne.jp](mailto:okadajinja@jcom.home.ne.jp)

### 目 次

夏越祭ごあんない	1
総代会研修旅行(遠賀郡岡垣)	2
郷土地名考 ④9	2
まほろば	3
神社なげなげ問答 ④9	3
七五三	4
巫女奉仕者募集	4

平成二十二年七月二十九日(木) 午後六時~九時  
 (雨天決行)

社頭に設けた茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄を招来するという古式に則った夏越祭を厳修いたします。

大祓神事 午後六時より

どなたでも参加できます。

参列の方には大祓詞をさしあげます。

ふるってご参加ください。

当日ご参拝の方に

■「お札」と「茅」を授与いたします。

魔除けとして玄関に奉斎して下さい。

■無病息災・除災招福御神酒接待

ご参拝の方に御神酒をご奉仕いたします。

■総当たり福引き・かき氷

地元青年会の屋台がたちます。

いづれも一回100円

無料券

当日この券をご持参ください  
 かき氷が無料になります。

## 総代会研修旅行より

## 遠賀郡 岡垣鎮座

## 高倉神社参拝と

## 赤間宿の造り酒屋

## 「伊豆本店」をたずねて

三月十八日、岡田宮総代会研修旅行団一行は、早朝八時半、神社東参道を出発。バスは一路遠賀郡岡垣町へ…。途中、雨が降り始め、神社駐車場に着いた頃は、かなりの雨足に。高倉神社久間宮司様他、神職の出迎えを受け、早速御神殿に進み、正式参拝を行いました。

この神社の御由緒は大変古く、日本最古の歴史書の一つである、日本書紀に載せられている神社です。主な御祭神は、「大倉主命」おおくるぬしのみこと、「菟夫羅姫命」うすはらひめのみことのお二方です。当時、この地方を支配していた豪族の祖先神と考えられます。久間宮司様のユーモアに富んだ御講話を聞き、一同は神社を後にしました。

その後、昼食の後、別格本山鎮国寺を見学。小雨の降る中、早々に車中に戻り、次は宗像市赤間の老舗酒蔵「亀の尾」の伊豆本店を訪ねます。白壁の塀をめぐらせた長屋門や、カヤぶき屋根の建物など、いかにも老舗といった趣の建物が並び、そこでの酒造りの工程を見学。お楽しみの試飲コーナーで、少しご機嫌となりしばしのお買物タイム。

バスは一路岡田宮へと向います。午後四時半には、無事帰着。重みやげを手にし、それぞれが自宅へと急ぎました。今回は、雨模様の中ではありましたが、例年通り、大変楽しく有意義な旅行となりました。高倉神社久間宮司様始め、権禰宣様、又「亀の尾」伊豆本店の皆様、厚いおもてなし心より御礼申し上げます。

※伊豆本店の銘酒亀の尾は、岡田宮の授与所にて、御神酒としてお授けしています。



## 郷土地名考 ④

## 引布

引野の四十三小字のうちの字で、伝承によれば、斉明天皇が筑紫に下られたとき、里人が道に布を引いて迎えたということから「引布」と呼称され、それがいつの頃から現在の「引野」に転訛したといわれている。

ちなみに日本書紀によれば、斉明天皇は、六六一年一月に百濟救援軍を率いて難波を発し、途中備前・備中・伊予の熟田津岩湯（道後温泉）の行宮を経て、三月に筑紫の那大津（長津・那の津）に着いている。

斉明天皇は元皇極天皇が重祚（二度皇位につく）された方で、阿部比羅夫等を指揮して蝦夷や朝鮮などの対外政策を積極的に推進した女帝である。

斉明天皇はこの年の七月二十四日に朝倉宮で崩御されているが、この引野にも立ち寄られたということなのであろう。しかし、それを証明する資料はなにもない。

なお、翌々年（六六三年）には、外征の日本軍が新羅と唐の連合軍の攻撃を受けて、百濟の白村江で敗れたため、日本は大陸における足場を失う結果となった。

このあたりから国防上の危機感が高まり、防人の配置や水城・大野城などが築かれて国土防衛が強化されていたわけである。

ところで、布を敷いたということは天皇に対する敬意の意味であろうが、今一つ考えられることは、引野は地形的にみても割子川や宮川などの川が集まった、いわゆる低湿地帯の多いところであったことが想像できる。

# まほろば

子どもの頃から神社は身近にありました

正月の初詣、春のお祭りのにぎわい  
夏の日差しと神社の木立、わくわくする秋祭り  
子どもの誕生を報告し、成長の無事を祈るお宮参り  
七五三では、子どもの成長を喜び感謝を捧げ  
入学すると、学業の成就を祈りました

神社はいつもそこにありました  
そこは手を合わせて、感謝と祈りを捧げる場所  
意識をしてもしなくても  
神さまはいつも見守ってくださいます

「神さまを感じる」ということは  
無意識のうちに神さまと共に暮らしている  
そんな日常の中にあるのかもしれない

普段、神社にお参りするとき  
神さまがおられる本殿の扉は閉まっています  
たとえ扉が閉まっても、そこに神さまがいらつしやる  
それを私たちは知っています

倭は国のまほろば たたなづく

青垣 山隠れる 倭しうるはし

この歌は、第十二代景行天皇の皇子、倭建命が遠征の途次、  
故郷である「やまと」の国を想い、詠まれた歌です

「まほろば」とは、真に秀でたところ  
実り豊かな美しいところを意味します

古の人々も、目には見えない神々と共に暮らし  
祈りと感謝に満ちた生活を送っていたに違いありません

「まほろば」は、誰もが持つ故郷であると同時に  
私たちの心の中にある「幸せ」の空間とも  
言えるでしょう



## 神社 なぜ 問答 (その49)

### お稲荷様の狐が口に

くわえているものは  
なんですか。

稲荷神社の狐像にはさまざまな形  
態が見られます。これは稲荷神が氏  
神の神社や祠に祀(まつ)られてい  
たり、各家の屋敷神として邸内社に  
祀られるなど、その信仰に多様性が  
あるためといえます。稲荷信仰は稲  
荷神社の御祭神である宇迦之御霊神  
(うたのみたまのかみ)が五穀や食  
物を司る神であるように農耕神・穀  
霊神としての御神格が中心となつて  
います。

このため御質問の狐像が口にくわ  
えているものも、穀霊を象徴する玉  
であったり、稲束を刈る鎌であつた  
りとさまざまです。また、穀物を納  
める米蔵の鍵をくわえている狐像も  
あり、この像からは穀霊神であるの  
と同様に自家の米蔵、つまり家財を  
守る神、家内安全、家業繁栄の神と  
しての信仰も窺うことができます。  
このほか、お経の巻物や火焰の燃  
え上がる如意宝珠などの仏法具をく



わえたもの  
も見られま  
す。これは  
我が国にお  
いて稲荷神  
の信仰と仏  
教が結びつ  
いた影響に  
よるもので  
、具体的には  
仏教の荼吉  
尼天(だき  
にてん)と  
習合しまし  
た。インド  
における荼  
吉尼天は、  
鬼神で、六  
カ月前に人の死を知り、その心臓を  
取って食らうという恐ろしい女神で  
したが、日本では福神化され、狐に  
乗った稲荷女神の姿が民間に広まり  
ました。

神社の参道に一对で置かれた狐像  
の中には、狛犬と同様に社殿に向か  
って右(上座)が口を開いた「阿(あ)」  
であり、左(下座)が口を閉じた「吽  
(うん)」で、「阿吽」の対になつて  
いる場合もあります。このうち物を  
くわえている狐は、口を閉じている  
左の「吽」の方が多いうです。こ  
のことは諸説がありますが、明確  
な理由はないようです。

# 七五三

七五三祭は、子供の成長にともない節目々々に神社にお参りして、いつそうの息災成長を祈る行事です。

三歳の男子女子の祝いを髪置、五歳の男子の祝いを袴着、七歳の女子の祝いを帯解きなど称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によつて必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行われた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行われます。

なお、平成二十二年の七五三の年齢は、左記のとおりです。ので、ご家族おそいでお参り下さい。

## 記

- 三歳 平成二十年生 (かぞえ齢) 平成十九年生 (満年齢)
- 五歳 平成十八年生 (かぞえ齢) 平成十七年生 (満年齢)
- 七歳 平成十六年生 (かぞえ齢) 平成十五年生 (満年齢)

※年齢はかぞえ年でも、満年齢でもかまいません。  
※毎日午前九時より午後五時まで受付をしています。



# 巫女奉仕者募集

大神様のお側近くで巫女として仕え、結婚式やお神礼やお守りをお授けする女性奉仕者を募集しています。神様に仕える重要なお務めであり、貴重な体験になるかと思えます。

ご希望の方は神社社務所

電話 六二二-一九八九

までお問い合わせ下さい。

奉仕資格 高校生以上

未婚の方

※書類審査・面接有り



できれば髪の長い方希望  
茶髪不可

(奉仕時はピアス・ネールア  
卜不可)

## 有川 写真館

八幡西区岡田町1-44-3F TEL 0120-62-2080  
本店を黒崎鎮守の森 岡田宮鳥居横 尾畑ビル3階に  
移転いたしました

岡田宮スタジオ (境内)

0120-620-753

神社挙式プラン

(挙式料・衣装・写真3ポーズ2冊) 200,000円

## 宮参り・七五三・入園・入学など

(お子様の衣装・着付け・ヘアメイク無料)

レンタルお出かけ衣装

1着 ￥5,000～ (お子様に限りです)

## 撮影料金

四切	1ポーズ	1枚	……	¥10,500
四切	2ポーズ	2枚	……	¥21,000
四切	3ポーズ	3枚	……	¥27,000